

Press Release

2019年2月7日

各 位

関西エアポート神戸株式会社
オリックス自動車株式会社

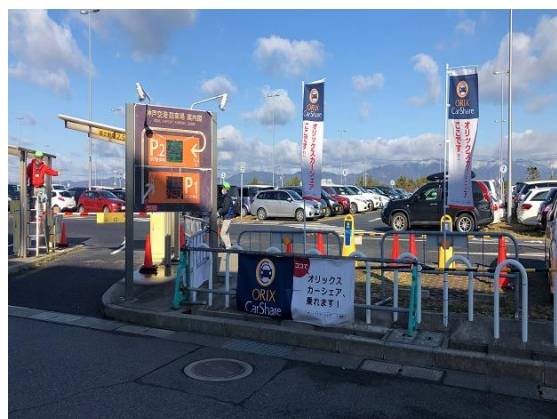
神戸空港に初のカーシェアリング拠点を開設 ～オリックスカーシェアと連携し、空港からの移動をより便利に～

関西エアポート神戸株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長 CEO：山谷 佳之、代表取締役副社長 Co-CEO：エマヌエル・ムント）と、オリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：上谷 内 祐二）は、2019年2月8日（金）より、神戸空港内に初めてカーシェアリングのサービス拠点を共同で新規開設しますのでお知らせします。

関西エアポート神戸は空港敷地内の駐車場を活用し、オリックス自動車がカーシェアリング事業を運営します。カーシェアリングは、簡単に車両の貸出や返却ができ、24時間、365日いつでも車両のご利用が可能です。空港から目的地への移動手段にカーシェアリングが加わることで、ビジネスや観光で当空港を利用される個人・法人のお客さまの利便性の向上を図ります。

【新設ステーション概要】

ステーション名：神戸空港ステーション
設置場所：神戸空港第1駐車場内
設置台数：2台
車 種：日産／ノート
トヨタ／カローラフィールダー



新設ステーションの様子

オリックス自動車のカーシェアリング事業「オリックスカーシェア」は、2002年に日本で初めて事業化して以来、首都圏や近畿圏を中心に、1,695拠点（2018年9月末時点）に展開しています。近畿圏については、京都駅や新大阪駅などの新幹線発着駅周辺での展開を強化、2018年1月にはJR難波駅直結で西日本最大級のバスターミナルである大阪シティエアターミナル（OCAT）に、同年4月には大阪国際（伊丹）空港に拠点を新設するなど、各種交通機関との連携をすることでカーシェア会員の利便性向上を図っています。

両社では今後も、お客さまの利便性やサービス向上を目指し、さまざまな施策を行ってまいります。

◆本件(ニュースリリース)に関するお問い合わせ先◆

関西エアポート株式会社 / 広報・ブランディングチーム TEL：072-455-2201
オリックス株式会社 / グループ広報部 前田・藤原 TEL：03-3435-3167

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界38カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、44空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル（リスボンのハブ空港含む）、イギリス、スウェーデン、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で250社を超える航空会社が就航し、2017年の旅客者数は1億8,000万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万2,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017年の連結売上高は14億ユーロ、グループ全体の売上高は32億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構